



鏡野町長
山崎 親男

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

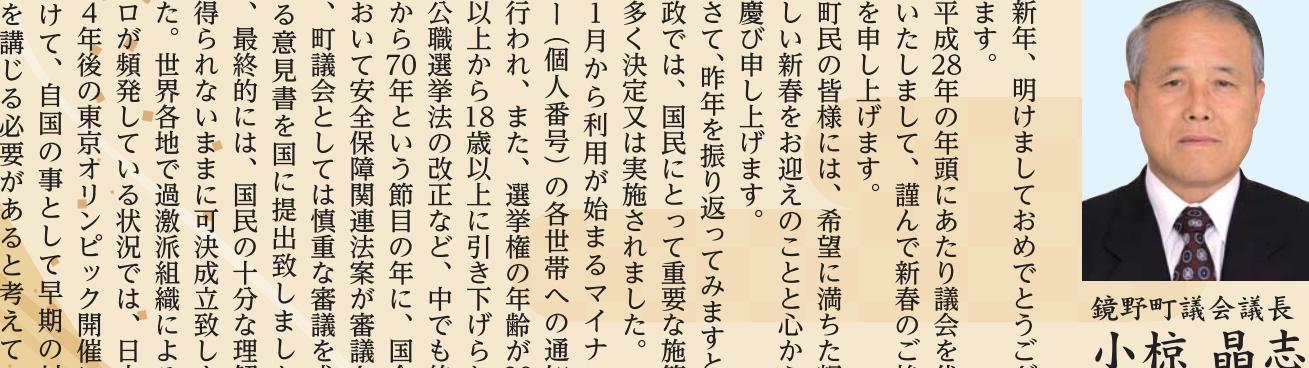
町民の皆様には、平素から、町政運営に対して多大のご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年合併十周年を迎えた本年は新しい十年へ向けて一歩を踏み出す年となります。皆様とともに一層の一体感ある鏡野町を目指して町政運営に取り組んでまいりたいと考えているところであります。

さて、町では平成二十六年度から「健康づくりの推進」を最重点施策に掲げて、各種の事業を進めておりましたが、昨年実施しました「健康チャレンジ九十日」には千人を超す皆さんに参加していただき、健康づくりに取り組んでいただきました。一人一人が自分のできることから健康づくりに取り組んでいただき、大きな輪となつて、町中に広がることを願っております。

また、一昨年来、まち・ひと・しあわせをめざして、地域活性化やまちづくりに取り組んでまいりました。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



鏡野町議会議長
小椋 晶志

新年、明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたり議会を代表いたしまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国政では、国民にとって重要な施策が多く決定又は実施されました。

1月から利用が始まるマイナンバー（個人番号）の各世帯への通知が行われ、また、選挙権の年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられた公職選挙法の改正など、中でも終戦から70年という節目の年に、国会において安全保障関連法案が審議され、町議会としては慎重な審議を求める意見書を国に提出致しましたが、最終的には、国民の十分な理解が得られないままに可決成立致しました。世界各地で過激派組織によるテロが頻発している状況では、日本も4年後の東京オリンピック開催に向けて、自国の事として早期の対策を講じる必要があると考えてい

ます。一方、本町では合併から10周年を迎え、更なる発展へのスタートの年でありました。

国では「地方創生」の推進が打ち出され、国と地方が情報を共有し、地方自らの考えで行動し、成果を出す姿勢が求められている中で、町としては「かがみの創生総合戦略」に

より、今後は様々な施策を推進していく事になりますが、町民の声を的確に反映させることができ町議会の責務であると考えております。

新たにして、わが町の躍進の年となるよう、議会も町民の皆様と共に歩んで参りたいと思います。

この一年が皆様にとって実り多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

